

令和5年度

「新技術・新工法説明会」

実施概要および

アンケート調査結果

国土交通省 九州地方整備局

目次

令和5年度「新技術・新工法説明会」開催報告

§ 1. 「新技術・新工法説明会」の概要	
1. 開催主旨・概要	1
2. 実施内容	1
3. 参加者の内訳	2
4. 実施状況	3
§ 2. 聴講者アンケート調査結果	
1. 有効回答数の内訳	11
2. 募集情報の入手先	12
3. 説明会参加の目的	12
4. 今回の説明会の総合的な満足度	13
5. 今後の参加	15
6. 資料の配布方法	16
7. 「新技術活用システム（概要）」のパンフレット（冊子）の感想	16
8. プレゼンされた新技術（NETIS 登録技術）の今後の活用	17
9. 新技術・新工法説明会等で、今後提供してほしい情報	18
10. 新技術情報提供システム（NETIS）の活用（検索など）	18
11. 新技術に期待すること	20
12. 九州技術事務所のホームページに掲載している 「新技術情報/NETIS」の情報の閲覧	20
§ 3. 説明者アンケート調査結果	
1. 有効回答数の内訳	21
2. 募集情報の入手先	21
3. プレゼンテーションの時間	22
4. 今回の説明会の総合的な満足度	22
5. 今後の説明会への参加	23
6. 過去の説明会でのプレゼンテーションの実績	24
7. プレゼンテーションが有料となった場合の参加	24

§1. 概要

1. 開催主旨・概要

新技術・新工法説明会は社会資本整備に寄与する新技術・新工法を知っていただくことにより、公共工事での新技術の活用促進を図るとともに、新たな技術開発を促進することを目的として開催しています。

令和5年度の「新技術・新工法説明会」は、九州地方整備局より「新技術情報提供システム（NETIS）の活用状況等について」の説明、NETIS登録企業等による技術情報のプレゼンテーション166技術(7会場合計)、宮崎会場・熊本会場・福岡会場では、「県内における新技術の取り組みについて」と題して、地方自治体（県）の担当者から各県の新技術活用促進の取り組みを説明していただきました。

令和5年度の説明会は、7会場合計で延べ1,048名の方に参加いただきました。

2. 実施内容

- ◆開催期間：令和5年10月～令和5年12月
- ◆開催場所：九州各県
- ◆開催回数：7回
- ◆開催内容：
 - ・新技術情報提供システム（NETIS）の活用状況等について（九州地方整備局）：各会場共通
 - ・県内における新技術の取り組みについて（地方自治体）：宮崎県・熊本県・福岡県
 - ・NETIS登録技術のプレゼンテーション（NETIS登録企業）：1会場23～25技術

令和5年度開催実績

開催地	会場名	開催日時	プレゼンテーション技術数			参加人数
			来場発表	録画・録音等による発表	合計	
長崎市	長崎県総合福祉センター	令和5年10月23日（月）	20	4	24	134
宮崎市	宮崎市民文化ホール	令和5年10月30日（月）	23	0	23	118
鹿児島市	鹿児島県市町村自治会館	令和5年10月31日（火）	22	1	23	174
佐賀市	佐賀県教育会館	令和5年11月08日（水）	22	2	24	166
別府市	別府国際コンベンションセンターB-CONPLAZA	令和5年11月13日（月）	22	3	25	129
熊本市	くまもと県民交流館 パレア	令和5年11月28日（火）	22	1	23	123
福岡市	福岡県自治会館	令和5年12月07日（木）	23	1	24	204
合計			154	12	166	1048

3. 参加者の内訳

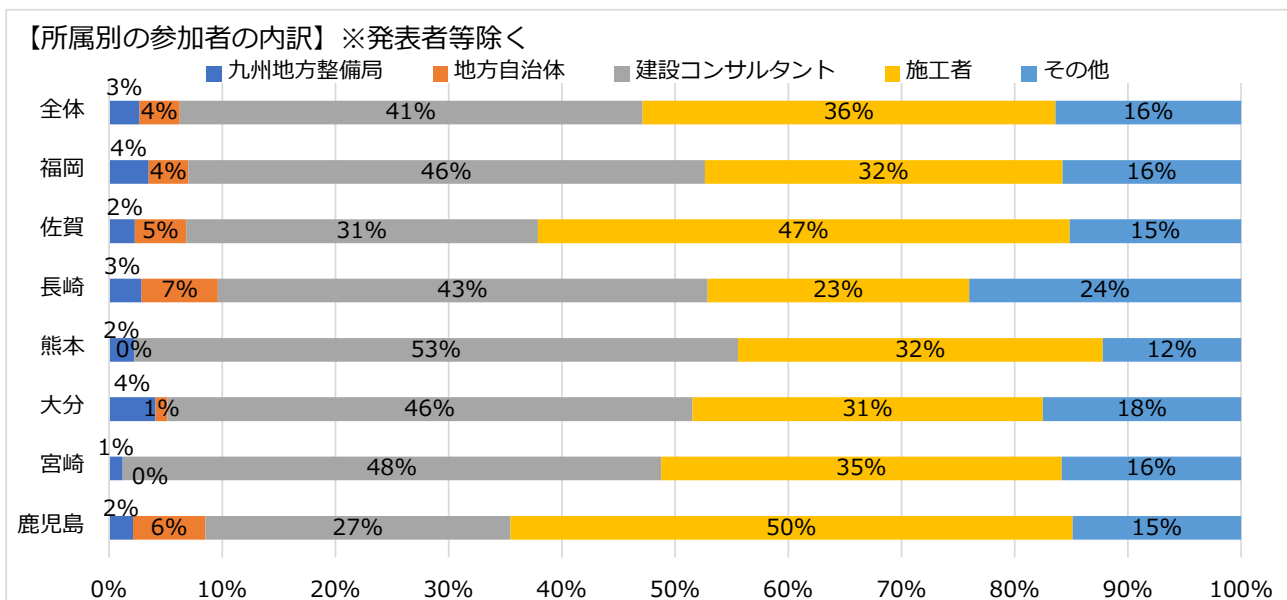
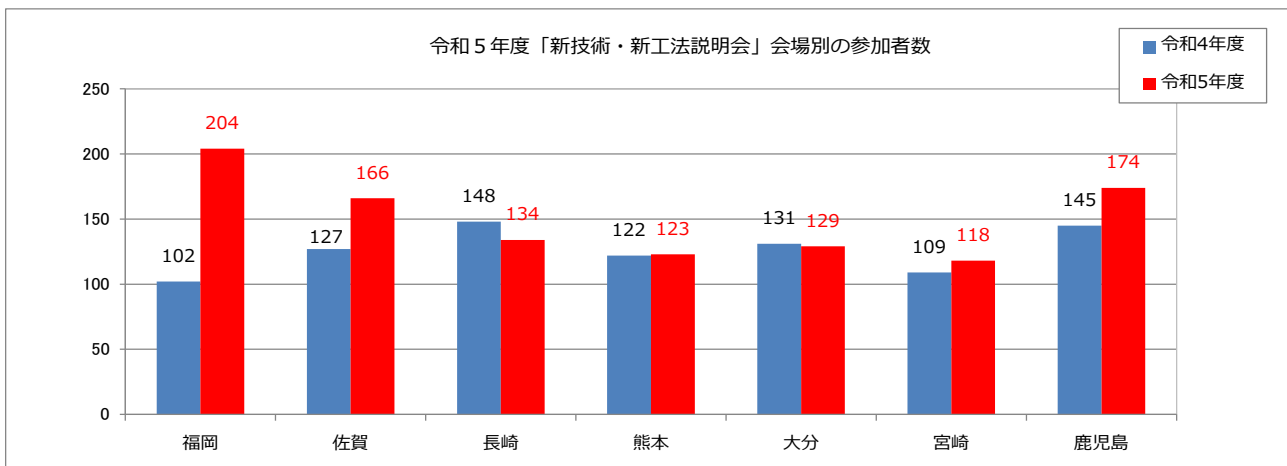
令和5年度の参加者数は1,048名でした。

福岡会場は令和4年度の会場定員が100名、令和5年度の会場定員が200名となったため、参加人数が増加しています。

所属別の参加者の内訳

会場	所属	令和5年度合計		所属内訳						令和4年度参加者数 発表者等含む
		発表者等含む	発表者等除く	九地整	地方自治体	建設コンサルタント	施工者	その他	発表者等	
長崎	令和5年10月23日(月)	134	104	3	7	45	24	25	30	148
宮崎	令和5年10月30日(月)	118	82	1	0	39	29	13	36	109
鹿児島	令和5年10月31日(火)	174	141	3	9	38	70	21	33	145
佐賀	令和5年11月08日(水)	166	132	3	6	41	62	20	34	127
大分	令和5年11月13日(月)	129	97	4	1	45	30	17	32	131
熊本	令和5年11月28日(火)	123	90	2	0	48	29	11	33	122
福岡	令和5年12月07日(木)	204	171	6	6	78	54	27	33	102
合計		1,048	817	22	29	334	298	134	231	884

※発表者等は発表者、事務局を示す。



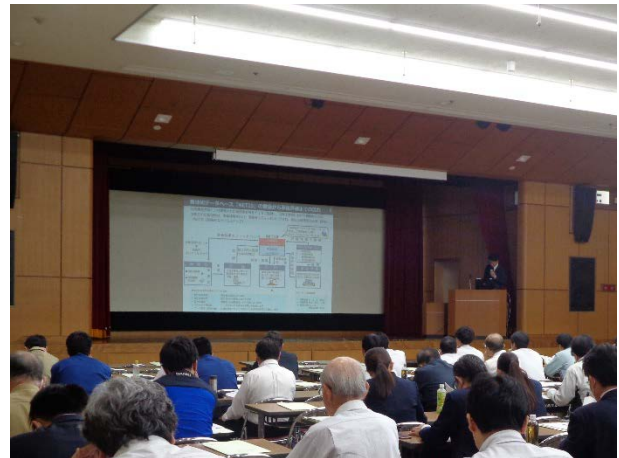
4. 実施状況

長崎会場の開催状況

令和5年10月23日(月) 長崎県総合福祉センター(プレゼン数24技術、参加者134名)



開会挨拶



新技術(NETIS)の活用状況等の説明



長崎会場の実施状況



長崎会場の実施状況

長崎会場のプレゼンテーション技術一覧

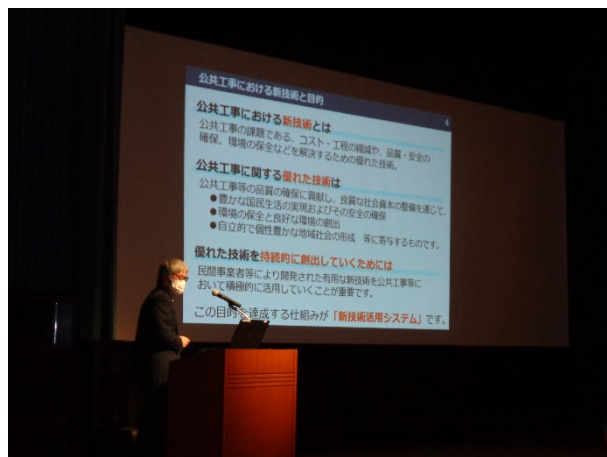
No	登録No	技術名	区分	分類(1)□ベル1	分類(1)□ベル2
1	QS-130016	VE 固まる簡易舗装材 カタマSP	材料	舗装工	特殊舗装工
2	KT-180128	A ドレインベルト及びドレインパイプを利用した土木排水システム	製品	共通工	排水構造物工
3	HK-170009	VR S・シールド	製品	付属施設	防護柵設置工
4	KT-210075	A 伸長ピン	製品	仮設工	足場支保工
5	KT-220240	A 掘削状況3D管理アプリちかデジ(旧称:しくつ君)	システム	土工	施工管理
6	QS-150017	VE コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテシ리즈」	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
7	KT-200141	A LDis-Dy工法	工法	共通工	深層混合処理工
8	TH-180010	VE コンクリート充填管理システム「ジュウテンミルカ」	システム	コンクリート工	施工管理
9	CB-200010	A 遠隔操作草刈機・集草機(CRAWLER)	機械	河川維持	堤防除草工
10	KT-220058	A アルカリ法面緑化用液状中和剤「ドクターペーパー液剤」	材料	共通工	法面工
11	KT-220061	A フォームサポート工法	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
12	CG-160013	VE けい酸塩系表面含浸材CS-21ネオ	材料	コンクリート工	コンクリート工
13	KT-220087	A 自立強度型 圧力管更生 チューブテックスR工法	工法	上下水道工	維持管理
14	KT-230050	A 保全カレンダー型機械設備管理システムFLIPS	システム	機械設備	機械点検・整備
15	CB-170021	VE 伸縮装置及び床版防水の一体化工法(ARCHIST ONEPIECE-GEL SYSTEM工法)	工法	橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工
16	KK-220072	A GGRW工法	工法	橋梁上部工	橋面防水工
17	KT-220212	A 屋外長距離用無線アクセスポイント「ホップワイドLAN」	製品	土工	施工管理
18	KT-170003	VE JETORETE(ジェットクリート)工法	工法	共通工	深層混合処理工
19	QS-210051	A 省スペース設置対応伸縮装置	製品	橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工
20	HK-160018	VR テラグリッド補強土工法	工法	共通工	擁壁工
21	KT-190005	A 蒸気圧破砕薬用IC段発着火具	材料	共通工	構造物とりのこわし工
22	KK-220042	A 鋼板腐食検査器	システム	調査試験	構造物調査
23	KT-230023	A LTE搭載遠隔臨場スマートグラス「InfoLinker3」	システム	土工	施工管理
24	KT-220179	A KOLC+ 4D工程表	システム	共通工	情報化施工

宮崎会場の開催状況

令和5年10月30日（月） 宮崎市民文化ホール（プレゼン数 23 技術、参加者 118 名）



開会挨拶



新技術（NETIS）の活用状況等の説明



宮崎県による新技術の取り組みについての説明



宮崎会場の実施状況

宮崎会場のプレゼンテーション技術一覧

No	登録No	技術名	区分	分類(1)□ベル1	分類(1)□ベル2
1	QS-140005	VE 小口止用サイドブロック	製品	河川海岸	多自然型護岸工
2	QS-200021	A ソーラー充電式LED街路灯「恵みの光」	製品	電気通信設備	電気設備
3	KT-190076	VE 超耐シーラーTF2000	材料	共通工	ボックスカルバート工
4	QS-200048	A 高耐久保護シート(防災イエローシート)	製品	仮設工	その他
5	CG-160007	VE 連続鉄筋コンクリート舗装用斜交メッシュパネル	製品	舗装工	コンクリート舗装工
6	QS-220020	A 山留め式擁壁「CSWR工法」	工法	共通工	擁壁工
7	KK-210062	A フラッドエース	製品	仮設工	その他
8	TH-160012	VR 高含水泥土改良剤 MTシリーズ	製品	土工	土工
9	CB-180004	VE コンクリート湿潤・保温養生シート(潤王「うるおう」)	材料	コンクリート工	コンクリート工
10	KT-220184	A 常温型コンクリート舗装補修材「ノンジャシール」	材料	道路維持修繕工	路面補修工
11	HK-220006	A トルクデータを活用した多数アンカー式補強土壁の品質管理システム	システム	共通工	擁壁工
12	QS-190056	A 低水位時間開放型フラップゲート	機械	機械設備	水門設備
13	QS-210050	A LiDARスキャナ付きタブレット等を活用した3次元測量アプリケーション(OPTIMGeoScan)	システム	土工	施工管理
14	KT-220169	A 総合気象GISプラットフォーム「Amatellus」	システム	その他	その他
15	KT-200150	A SJMM-Dy工法	工法	共通工	深層混合処理工
16	KT-230063	A 一工程式小口径推進工法「アリトン工法(アリトンベースック)」	工法	推進工	小口径推進工
17	KT-180080	A PC-Rev工法	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補修工
18	KT-230031	A 常温硬化型舗装ひび割れ補修材「スーパーMDシール」	材料	道路維持修繕工	アスファルト注工
19	HK-150003	VR プラスネット工	工法	付属施設	防護柵設置工
20	KTK-180007	VE 船舶動静共有航行支援システム	システム	港湾・港湾海岸・空港	安全対策工
21	KT-160058	VE KSボンド	材料	橋梁上部工	鋼橋床版工
22	KT-210005	A こんこん(連続打音検査装置)	製品	調査試験	構造物調査
23	KT-200039	A N-Jet工法	工法	共通工	深層混合処理工

鹿児島会場の開催状況

令和5年10月31日（火） 鹿児島県市町村自治会館（プレゼン数 23 技術、参加者 174 名）



開会挨拶



新技術（NETIS）の活用状況等の説明



鹿児島会場の実施状況



鹿児島会場の実施状況

鹿児島会場のプレゼンテーション技術一覧

No	登録No	技術名	区分	分類(1)□レベル1	分類(1)□レベル2
1	QS-150001	VE NCショット	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
2	KK-190028	VE 自由設計可能な透明型枠「透(クリア)フォーム」	製品	コンクリート工	コンクリート工
3	QS-190055	A ネイレーン(根入ブロック)	製品	共通工	擁壁工
4	KT-220244	A サステイナブルフェンス工法	工法	付属施設	防護柵設置工
5	KT-220015	A 懸濁型超微粒子複合シリカグラウト「ハイブリッドシリカ・シリーズ」	材料	共通工	薬液注入工
6	KKK-220001	A カルシアパケット	機械	港湾・港湾海岸・空港	浚渫工
7	KT-190075	A Zスリット型堰堤工法	工法	砂防工	水路工
8	KT-180037	A ICECRETE(アイスクリート)工法	工法	共通工	軟弱地盤処理工
9	QS-140011	VR GR-L(落ち葉対策型グレーチング)	製品	共通工	排水構造物工
10	QS-190016	VE 路面性状調査 メジャーロードカー	システム	調査試験	測量
11	QS-210055	A リチウムバッテリー式LED投光器(フラワーライトF)	製品	仮設工	その他
12	QS-220014	A ICT地盤改良システム『Picture(ピクチャー)シリーズシステム』	システム	共通工	深層混合処理工
13	QS-170038	A Fe石灰改良基礎工法	材料	共通工	軟弱地盤処理工
14	KT-230027	A 高強度コンクリートを用いた低桁高PC桁工法「ダックスビームHC工法」	工法	橋梁上部工	PC橋架設工
15	KT-200093	A 鋼構造物表面処理用レーザークリーニング工法(JPL工法)	工法	道路維持修繕工	道路付属物塗装工
16	KT-220006	A クラウド録画型ウェアラブルカメラ「SafePocket2」	製品	電気通信設備	電子応用設備
17	KT-220183	A サーベルDFを用いたイタチハギ、クズ、ニセアカシア、ギンネム等への防除工法	材料	道路維持修繕工	道路除草工
18	KK-220014	A STEP-IT工法	工法	共通工	軟弱地盤処理工
19	KTK-200003	A 消波工3次元モデリングシステム	システム	港湾・港湾海岸・空港	消波工
20	KT-230022	A 舗装総合管理システム「KSSL」	システム	舗装工	アスファルト舗装工
21	TH-190003	A スパイラル式コンベヤ	機械	機械設備	ダム施工機械設備
22	KT-140114	VE 亜鉛系防錆処理技術「ZEC-888」	材料	道路維持修繕工	道路付属物塗装工
23	CB-210007	A 遠隔支援作業ソリューション「SynchroAZ(シンクロ アイズ)」	システム	その他	その他

佐賀会場の開催状況

令和5年11月08日(水) 佐賀県教育会館(プレゼン数24技術、参加者166名)



佐賀会場の実施状況



佐賀会場の実施状況



佐賀会場の実施状況



佐賀会場の実施状況

佐賀会場のプレゼンテーション技術一覧

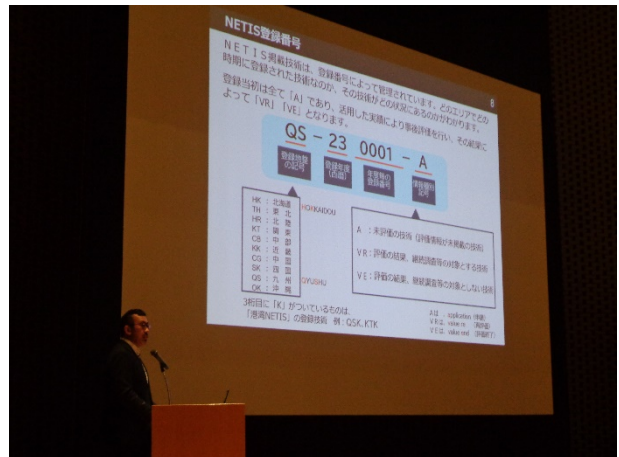
No	登録No	技術名	区分	分類(1)□ベル1	分類(1)□ベル2
1	QS-210035	A 硬質層対応Gコロム工法(GコロムHL工法)	工法	共通工	深層混合処理工
2	KK-210038	A TVI工法	システム	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
3	KT-130044	VE 早期交通開放型コンクリート舗装(1DAY PAVE)	工法	舗装工	コンクリート舗装工
4	KT-230025	A スピーカー内蔵型 電動ファン付き防じん防毒マスク	機械	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
5	CG-220031	A 極小根鉢苗を使って防草シートへかんたん植栽する工法	工法	道路維持修繕工	道路除草工
6	KT-220127	A パデムシート	製品	トンネル工	その他
7	KT-220155	A NDパネル	製品	共通工	擁壁工
8	QS-210009	A 中圧噴射機械攪拌工法(MITS工法CMS-ICTシステム)	工法	共通工	深層混合処理工
9	QS-210021	A 低環境負荷型高圧噴射攪拌工法「SMM-Low工法」	工法	共通工	深層混合処理工
10	KK-210031	A L棧橋	工法	仮設工	仮設・棧橋工
11	KK-230014	A 鉄筋腐食抑制型シラン系表面浸材「アクアシール1400AR」	材料	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
12	CG-220002	A デジタル重量計「トラ・スケ」	製品	機械設備	車両重量計・計測設備
13	CB-230003	A 鉄筋加工の生産性および歩留まり向上を実現した鉄筋コンクリート用棒鋼(TA Coil ティーエーコイル)	材料	コンクリート工	コンクリート工
14	SK-170007	VR 簡易路面調査システム スマートイーグル	システム	調査試験	構造物調査
15	SK-190007	A セミディープウェル工法	工法	仮設工	水位低下工
16	KT-220046	A 耐震性、耐風圧性能を向上させた瓦工法	工法	建築	屋根及びびとい工事
17	HK-220001	A GSドレーン工法	工法	共通工	軟弱地盤処理工
18	KT-220108	A 化学接着性防水シート(フィットライナー)	材料	トンネル工	トンネル工(NATM)
19	SK-180002	A ラッピングジョイント工法	工法	橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工
20	KK-200041	A アルミ土留パネル	製品	仮設工	仮設材設置撤去工
21	CBK-210001	A 地下空洞、空間の充填技術「ジュウテンバッグ工法」	工法	港湾・港湾海岸・空港	維持補修工
22	KT-220187	A ワンダーコーティングシステム(WCS)ガラスコートシリーズ	工法	道路維持修繕工	道路付属物のコンクリート面塗装工
23	KK-170061	A 工程表作成・更新システム	システム	建築	施工管理
24	CG-200014	A 斜面安全掘削工法(新SSD工法)	工法	土工	土工

大分会場の開催状況

令和5年11月13日(月) 別府国際コンベンションセンター-B-CONPLAZA (プレゼン数 25 技術、参加者 129 名)



開会挨拶



新技術 (NETIS) の活用状況等の説明



大分会場の実施状況



大分会場の実施状況

大分会場のプレゼンテーション技術一覧

No	登録No	技術名	区分	分類(1)ロベル1	分類(1)ロベル2
1	CB-210003	A アンカーネット工法	工法	共通工	アンカー工
2	CG-220020	A 大型植生土のう「メガ・メデル」	製品	共通工	法面工
3	QS-200017	A 河川洪水や高潮対策に対応可能な鋼製止水壁	工法	河川海岸	その他
4	CG-170009	A 2液混合型けい酸塩系表面含浸材CS-21ビルダー	材料	コンクリート工	コンクリート工
5	CB-230008	A 3次元データを活用した配筋検査省力化ツール「Modely」	システム	コンクリート工	施工管理
6	QS-200056	A 水中ポンプ自動制御ユニット(オートポンプユニット)	機械	仮設工	水位低下工
7	CB-150012	VR コンパリアS	製品	共通工	擁壁工
8	KT-210028	A 油圧ハンマの騒音防止装置を使用した鋼管杭の打止め工法	工法	基礎工	鋼管・既製コンクリート杭打設工
9	KK-220032	A エコルミナス80	製品	仮設工	その他
10	KT-230046	A トンネル・橋梁補修・補強用繊維シート接着工法「ガイナSHシートボード工法」	工法	道路維持修繕工	トンネル補修補強工
11	KK-160028	VE パントレ工法	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
12	KT-190128	A 高圧CSB	製品	共通工	排水構造物工
13	KT-190087	A 細径高密度型スロットレス光ファイバケーブル	製品	電気通信設備	通信設備
14	QS-220002	A 自己治癒機能型高性能収縮低減剤「パワーヒーリングーAD」	材料	コンクリート工	コンクリート工
15	KT-210017	A 高耐久アスファルト用改質剤 ニュートラック	材料	舗装工	アスファルト舗装工
16	KT-160120	VE NJP(エヌ・ジェイ・ピー)工法シリーズ	工法	共通工	深層混合処理工
17	SK-220010	A ポルト締付けマーキング用スタンプ「ポルトライン」	製品	橋梁上部工	鋼橋架設工
18	KT-220162	A ダム堆砂分別吸引アタッチメント T-A Dredger	機械	ダム	ダム維持管理工
19	SK-190001	A フラッシングコアによる副側溝工法	工法	公園	公園工
20	KT-230060	A 画像ベースインフラ構造物点検サーブイス「インスペクション EYE for インフラ」	システム	調査試験	構造物調査
21	QS-220026	A 法面等の緑化(張芝工)に用いる改良野芝「善緑」	工法	共通工	法面工
22	CG-210015	A ラバトップジョイント250MJ	工法	橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工
23	KT-220070	A スロープセイバー	工法	共通工	法面工
24	TH-220004	A 遠隔監視が可能な液体圧カモニタリングシステムによる圧力管理工法「エアツミエルカ」	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
25	KT-210079	A アーバンガード	工法	砂防工	水路工

熊本会場の開催状況

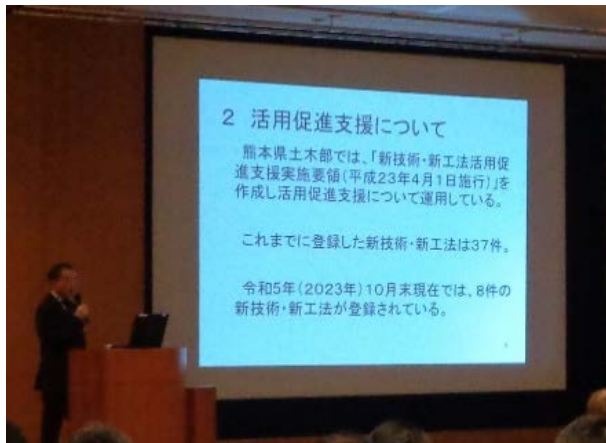
令和5年11月28日(火) くまもと県民交流館 パレア (プレゼン数23技術、参加者123名)



開会挨拶



新技術 (NETIS) の活用状況等の説明



熊本県による新技術の取り組みについての説明



熊本会場の実施状況

熊本会場のプレゼンテーション技術一覧

No	登録No	技術名	区分	分類(1)レベル1	分類(1)レベル2
1	KT-140096	VE 安全管理強化・工事総合管理システム「Orpheus-3D」(オルフェウス スリーディー)	システム	その他	その他
2	CG-210008	A モルタル製緑化基礎工を用いたキョウジンガー(植生マット)工	工法	共通工	法面工
3	KT-230004	A 軽量型枠システム「DUO」	製品	コンクリート工	コンクリート工
4	KKK-190002	A ノルトロックワッシャー	製品	港湾・港湾海岸・空港	付属工
5	QS-180021	A サイクルレーン側溝	製品	共通工	排水構造物工
6	QS-200022	VR ARを活用した見える化工事看板「ARIBO(アリボ)」	システム	仮設工	仮設材設置撤去工
7	QS-200057	A 全自動ビット式タイヤ強力洗浄機(BrushPIT)	機械	仮設工	その他
8	KT-230018	A 無線遠隔操作式ドリルロッド着脱機	機械	共通工	アンカー工
9	CG-220026	A ダンプトラック荷台の土砂付着防止製品【楽フロン】	製品	土工	土工
10	CB-230006	A FEP管(スパイラル形状)取付工法 : PLジョイント/BPtype	工法	電気通信設備	共通設備
11	KT-220232	A 上部障害クリア工法(U形鋼矢板500mm・600mm対応)	工法	仮設工	矢板工
12	SK-220009	A N・Sグリッド工法	製品	共通工	排水構造物工
13	KT-190051	A パーマロックASFシリーズ	材料	共通工	薬液注入工
14	CB-220033	A 無機系注入方式アンカー ケミカルアンカー・MLタイプ	製品	橋梁上部工	鋼橋架設工
15	KT-180050	A SDM-Fit工法	工法	共通工	深層混合処理工
16	CG-210016	A 耐震耐風目隠し通風フェンス(カクスルー)	製品	付属施設	防護柵設置工
17	KT-180111	VE 地上・地下インフラ3Dマップ	システム	調査試験	地質調査
18	QS-170042	VE AR/ハンマ工法	工法	基礎工	場所打ち杭工
19	QS-220006	A 魚群探知機を用いたダム貯水池3Dマッピング技術「Nソナー」	システム	調査試験	測量
20	KT-190094	A 磁気ストリーム法による橋梁のPC鋼材破断検査法(SenrigaN)	工法	調査試験	構造物調査
21	KK-220008	A 景観配慮型特殊堤「シーウォール」	製品	河川海岸	その他
22	KT-210067	A 道路橋用ハイブリッドジョイント3L II Aタイプ	製品	橋梁上部工	橋梁用伸縮継手装置設置工
23	KT-210010	A 油圧ショベル用油圧式クイッククラブ	製品	共通工	構造物とりこわし工

福岡会場の開催状況

令和5年12月07日(木) 福岡県自治会館(プレゼン数24技術、参加者204名)



新技術(NETIS)の活用状況等の説明



福岡県による新技術の取り組みについての説明



福岡会場の実施状況



福岡会場の実施状況

福岡会場のプレゼンテーション技術一覧

No	登録No	技術名	区分	分類(1)レベル1	分類(1)レベル2
1	QS-220037	A 加熱溶融型視覚障がい者誘導用点字シート「あるくM2」	製品	付属施設	その他
2	HK-190010	A 下部水密可動式無動力自動開閉ゲート	機械	機械設備	水門設備
3	TH-140013	VE ジュート繊維利用環境配慮型人工張芝「アサシバ」	製品	共通工	法面工
4	KT-230057	A 附属物点検表作成サービス「みちてんスナップ」	システム	ITS関連技術	道路管理の効率化
5	CG-190012	A ワイヤメッシュCSスパーサー	製品	コンクリート工	コンクリート工
6	QS-200026	A 遠隔臨場検査監督システム(アテネット)	システム	共通工	情報化施工
7	OK-150002	VR 上部フレアを用いた既設護岸改良工法	工法	河川海岸	その他
8	QS-190039	A タケミックスソイル緑化工法(竹繊維植生基材吹付工)	工法	共通工	法面工
9	CG-190005	A PRMSカラー工法	工法	舗装工	特殊舗装工
10	KK-220022	A A 勤トリイ工法	工法	仮設工	仮設・棧橋工
11	QS-190022	A ヒノダクパイル(ダクタイル鉄製基礎杭・省スペース基礎工法)	製品	付属施設	道路標識設置工
12	KT-220222	A A FN継手	製品	シールド	シールド覆工
13	KT-220008	A A 画像鮮明化装置「LISr-101」	製品	電気通信設備	電子応用設備
14	KT-220140	A A WHJ-In工法	工法	共通工	深層混合処理工
15	KK-200032	A A ヌビタ	製品	共通工	擁壁工
16	KT-190121	A A エコミックス	製品	道路維持修繕工	路面補修工
17	KK-210059	A A 揺れ補正機能搭載カメラによる遠隔モニタリングシステム「遠場監督」	システム	共通工	情報化施工
18	KK-190004	A A 遮水シート一体化型ブロックマット	工法	河川海岸	多自然型護岸工
19	QS-200028	A A 土石流検知アラートシステム	システム	砂防工	土工
20	TH-220006	A A 蛍光X線分析によるコンクリート塩分濃度調査工法	工法	調査試験	構造物調査
21	KT-230038	A A 合成頂版式分割カルバート「コンボジットカルバート」	工法	共通工	ボックスカルバート工
22	KK-220034	A A 「3DDC-NTM」工事支援システム	システム	トンネル工	施工管理
23	QS-200020	A A 補強型コンクリートはく落防止工法	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工
24	KK-220029	A A 特定小電力によるレーダ式水位計	製品	河川維持	施工管理

◆その他の取り組み

- ・録画・録音等の上映によるプレゼンテーションを実施
- ・カタログ等配布スペースの設置



録画・録音等の上映による
プレゼンテーション



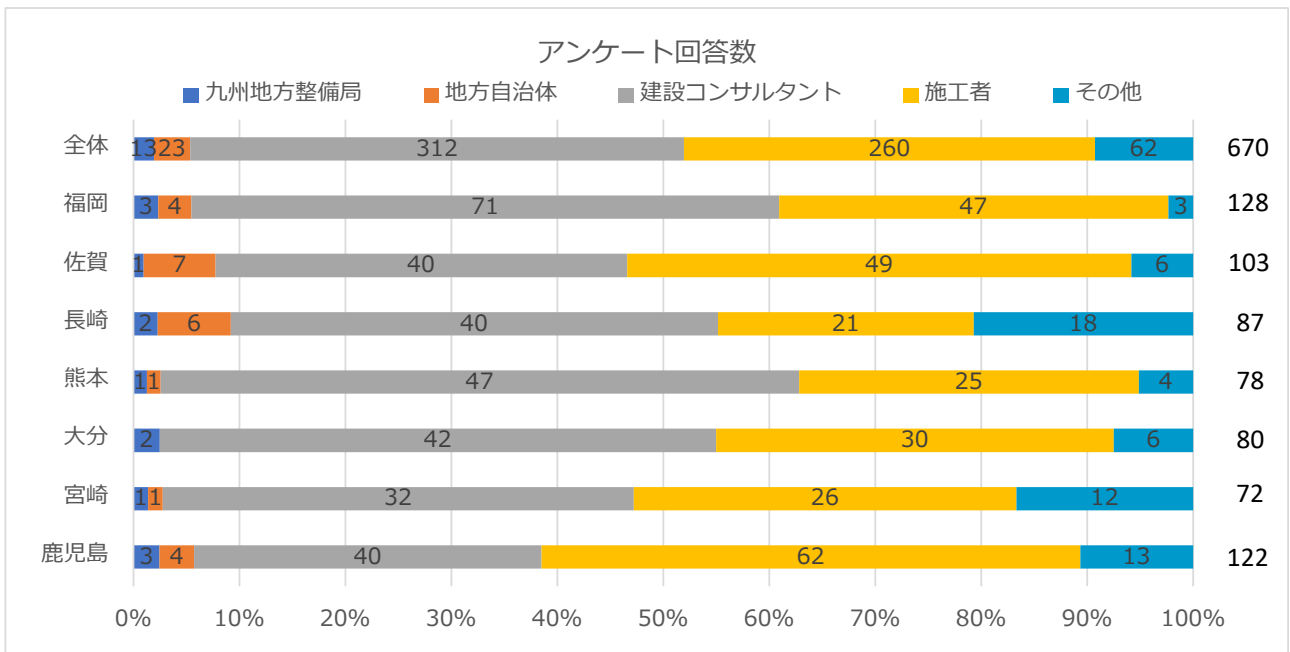
カタログ等の配布スペースの設置

§2. 聴講者アンケート調査結果

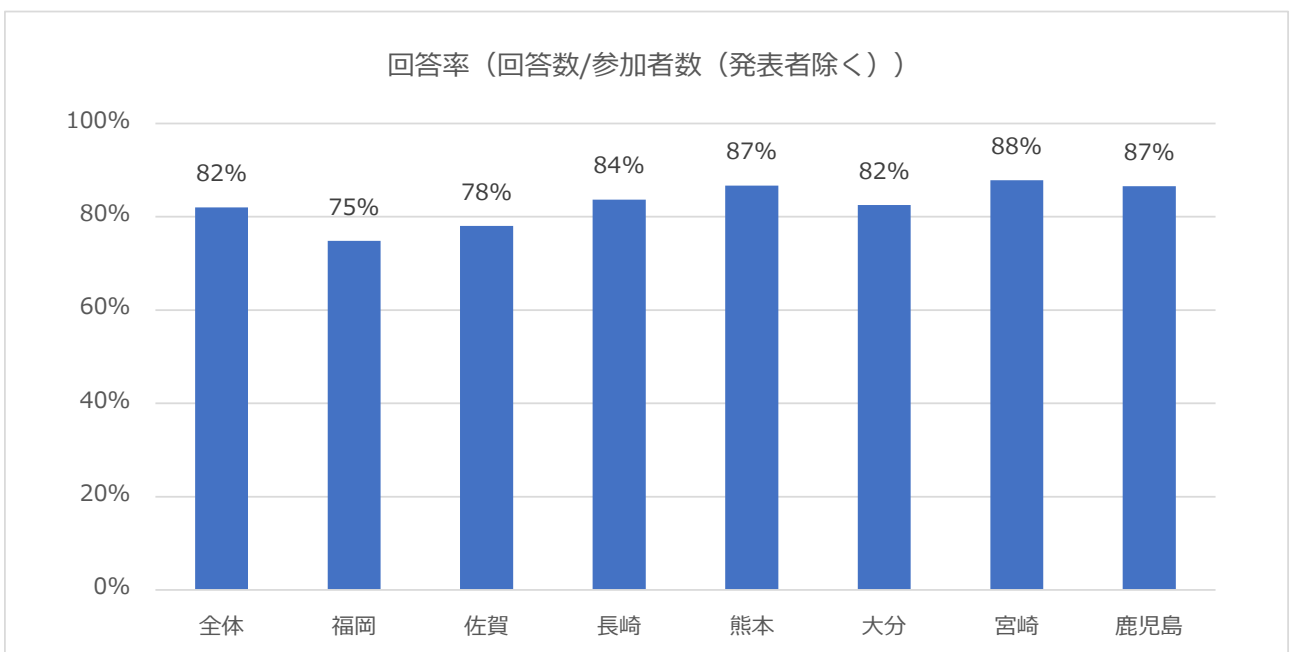
次年度以降の運営に役立てるため、アンケート調査を実施しました。

1. 有効回答数の内訳

実施期間	令和5年10月～12月
調査対象	新技術・新工法説明会の聴講者
調査方法	聴講者にアンケート用紙を配布し終了後に回収
回答数	670件（7会場合計）



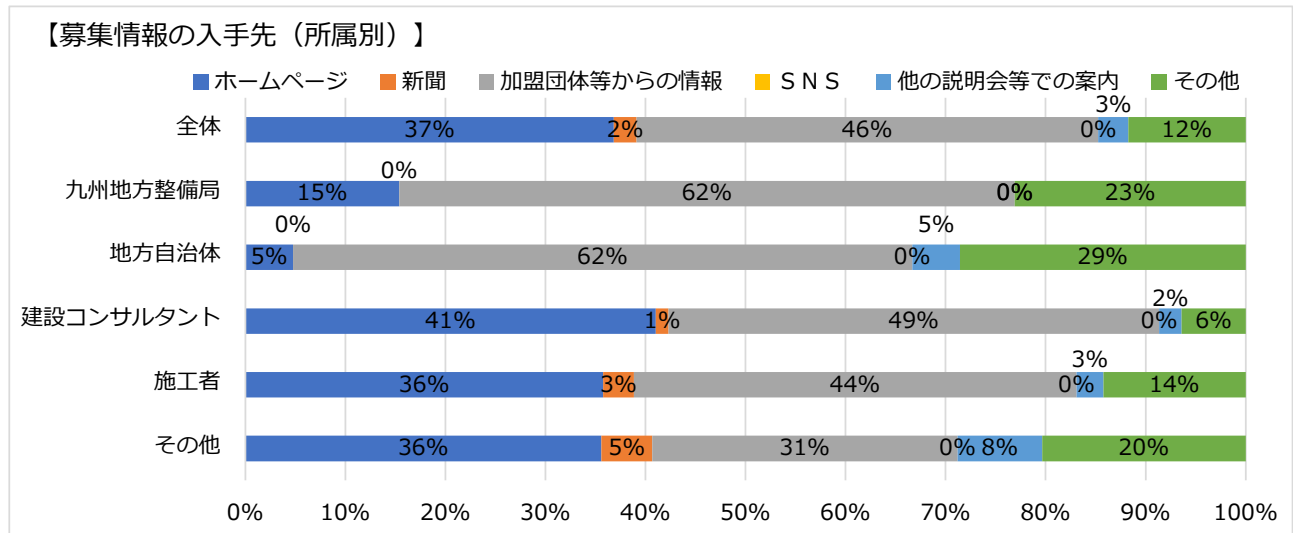
※「E：その他」は製造メーカー、所属未回答を含む。



2. 募集情報の入手先

【当説明会の聴講募集を何で知りましたか。】

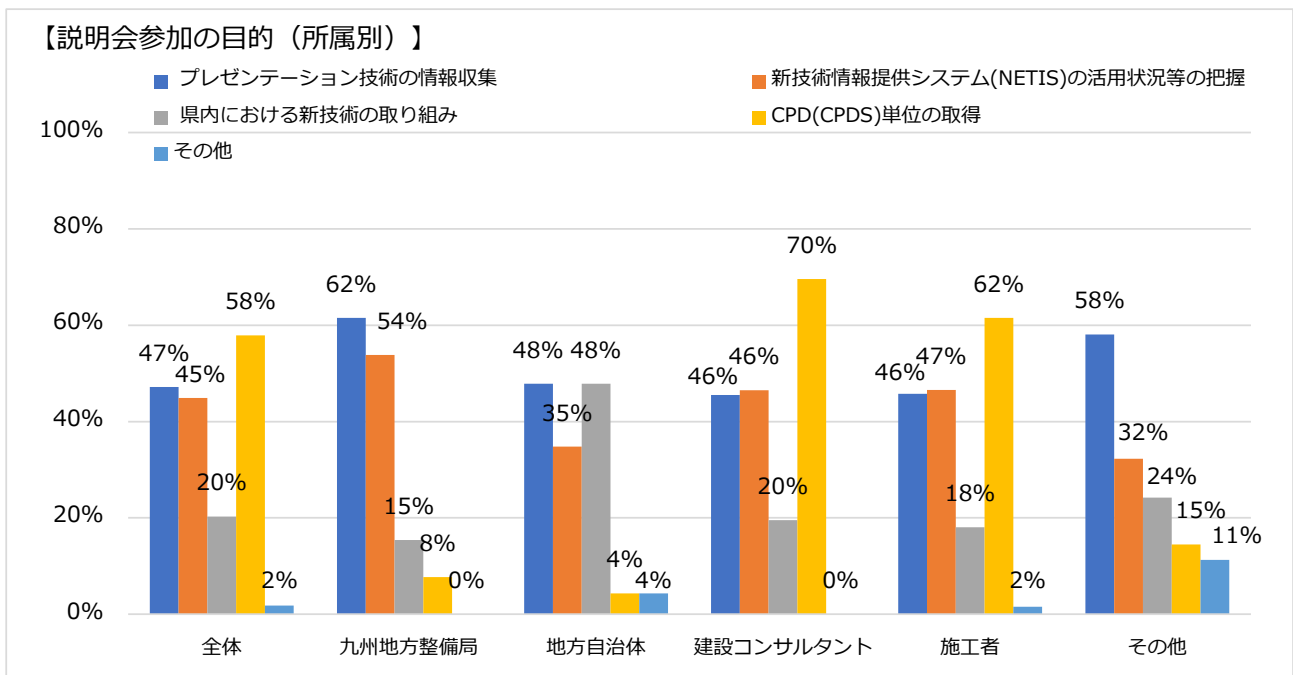
- ・全体では、「加盟団体等からの情報」が46%であった。
- ・「その他」の内訳は、「発注者からの情報」「所属先からの情報提供」であり、加盟団体等からの情報を含めると58%となっている。



3. 説明会参加の目的

【当説明会には何を目的に聴講されましたか。（複数回答可）】

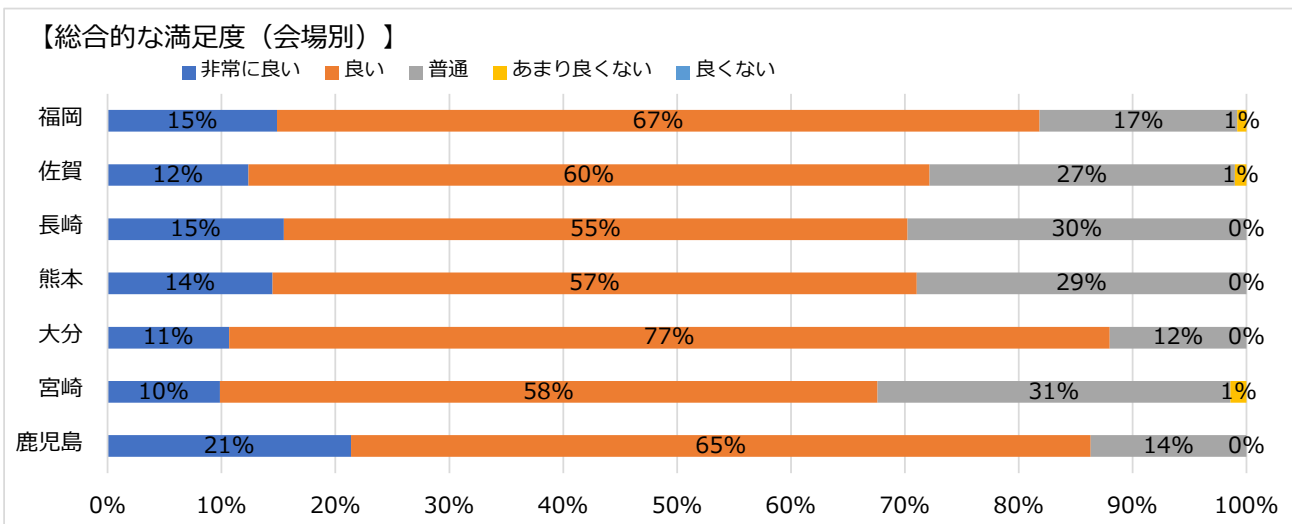
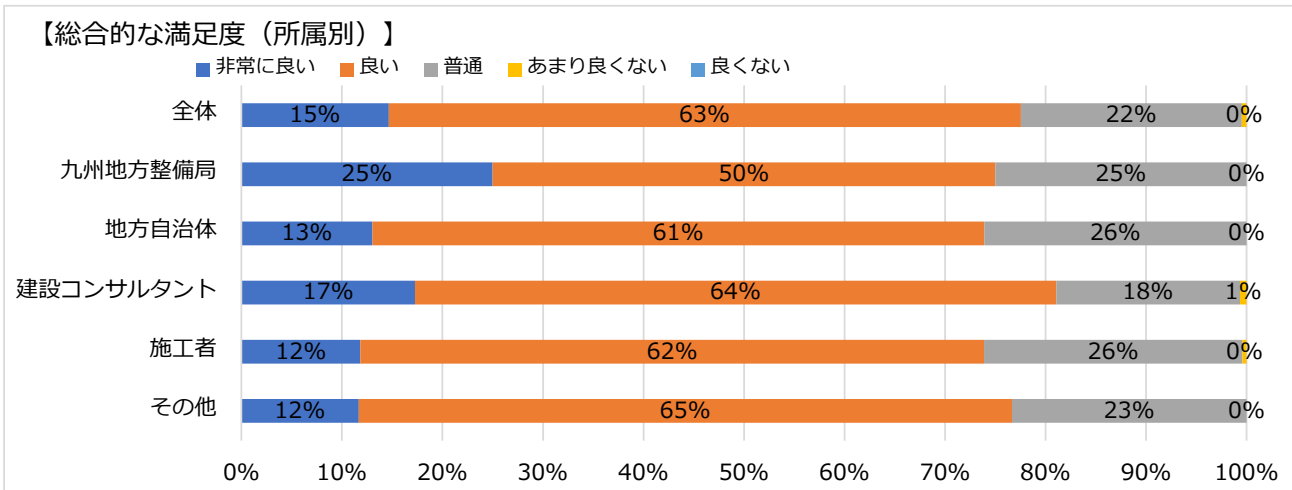
- ・全体では、58%を「CPD（CPDS）単位取得」が58%であった。
- ・次いで「プレゼンテーション技術の情報収集」、「NETISの活用状況の把握」の順となっている。



4. 今回の説明会の総合的な満足度について

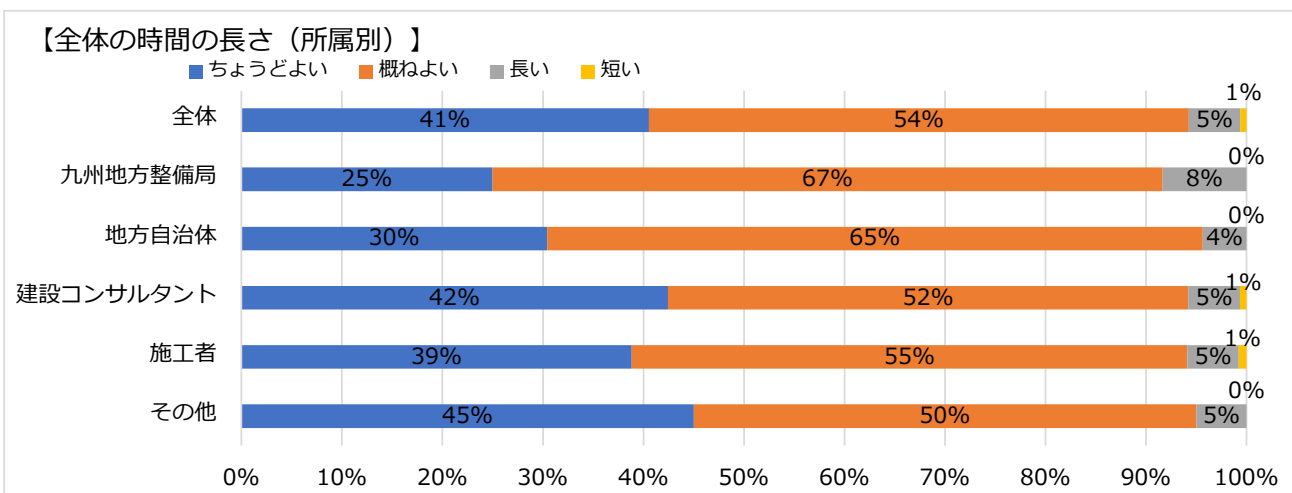
【今回の説明会の総合的な満足度について当てはまるものをお選びください。】

・全体の総合的な満足度は、「非常に良い」が15%、「良い」が63%、「普通」が22%、「あまり良くない」が1%未満であった。



【全体の時間の長さ】

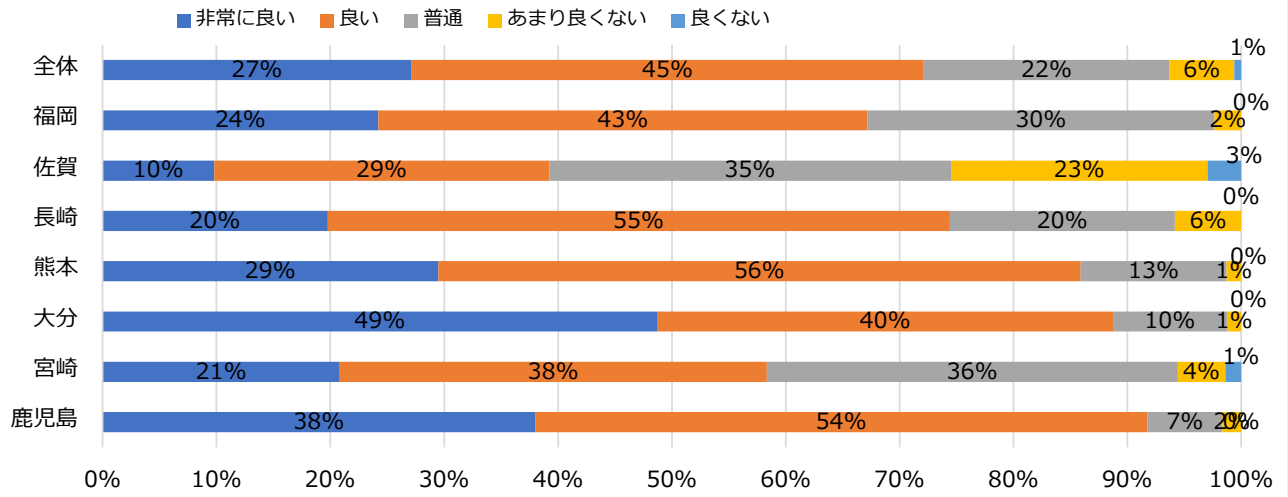
・全体の時間では、「ちょうどよい」が41%、「概ねよい」が54%、「長い」が5%、「短い」が1%であった。



【会場の規模（立地や広さ）】

- ・鹿児島会場、大分会場の満足度が高い。
- ・佐賀会場では、23%が「あまり良くない」、3%が「良くない」と回答している。

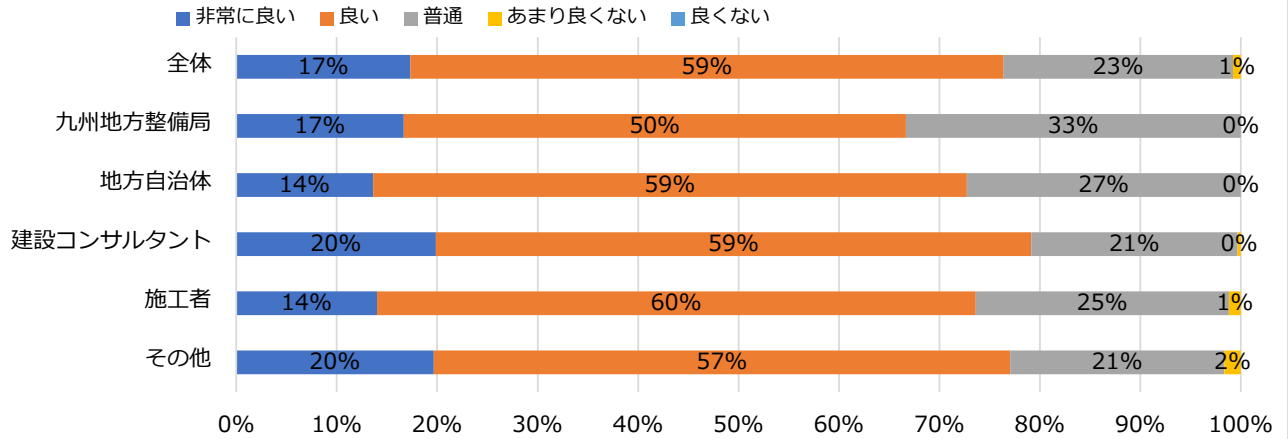
【会場の規模（立地や広さ）（会場別）】



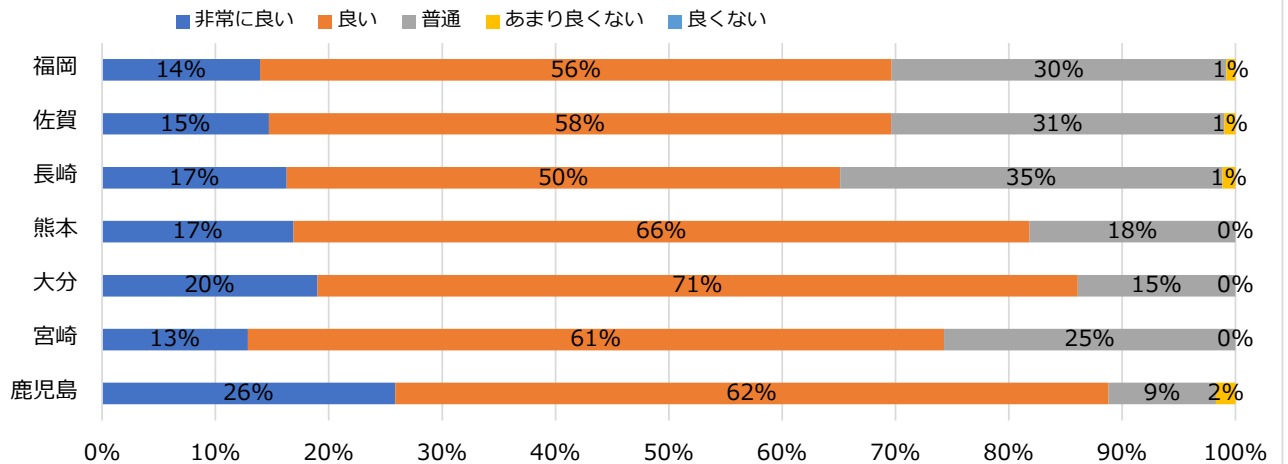
【説明会のプログラムや内容】

- ・「非常に良い」が17%、「良い」が59%、「普通」が23%、「あまり良くない」が1%であった。

【説明会のプログラムや内容（所属別）】

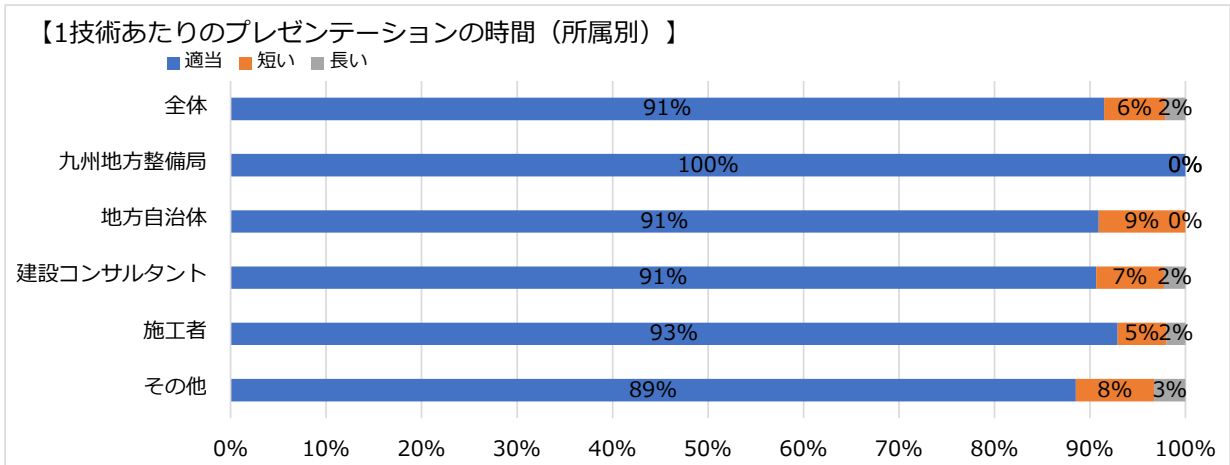


【説明会のプログラムや内容（会場別）】



【1 技術あたりのプレゼンテーションの時間】

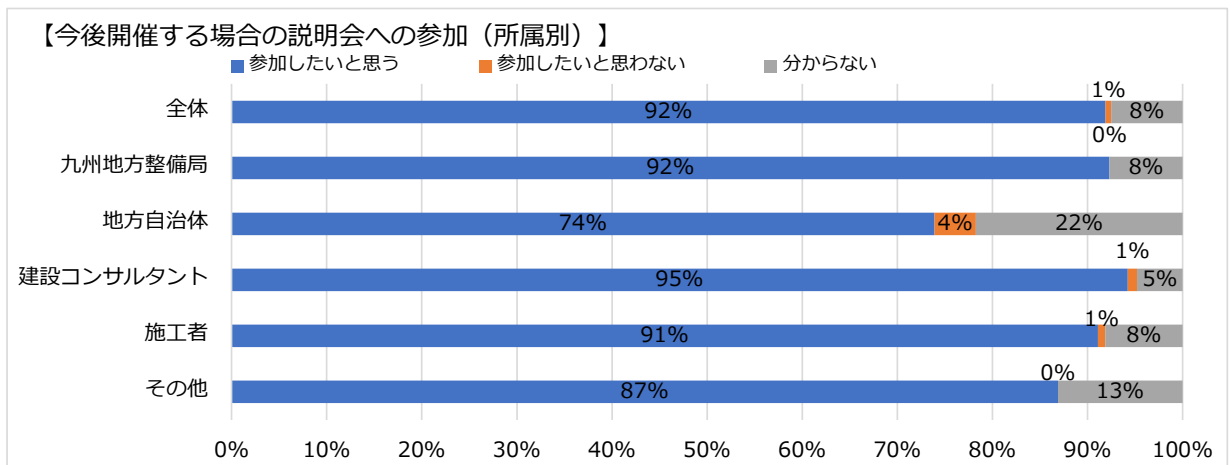
・1 技術あたり 10 分のプレゼンテーション時間は、91%が「適当」と回答している。



5. 今後の参加

【今後、同様の説明会を企画した場合、参加したいと思われますか。】

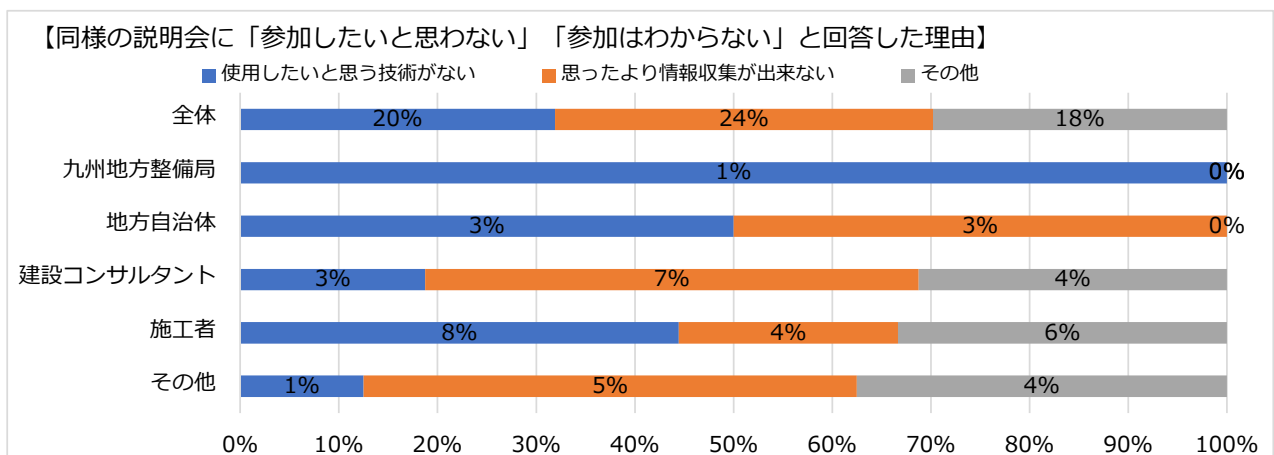
・全体では、「参加したい」が92%であった。



5-1. 今後の参加を希望しない理由

【「思わない」「わからない」と回答された方、その理由をお聞かせください。】

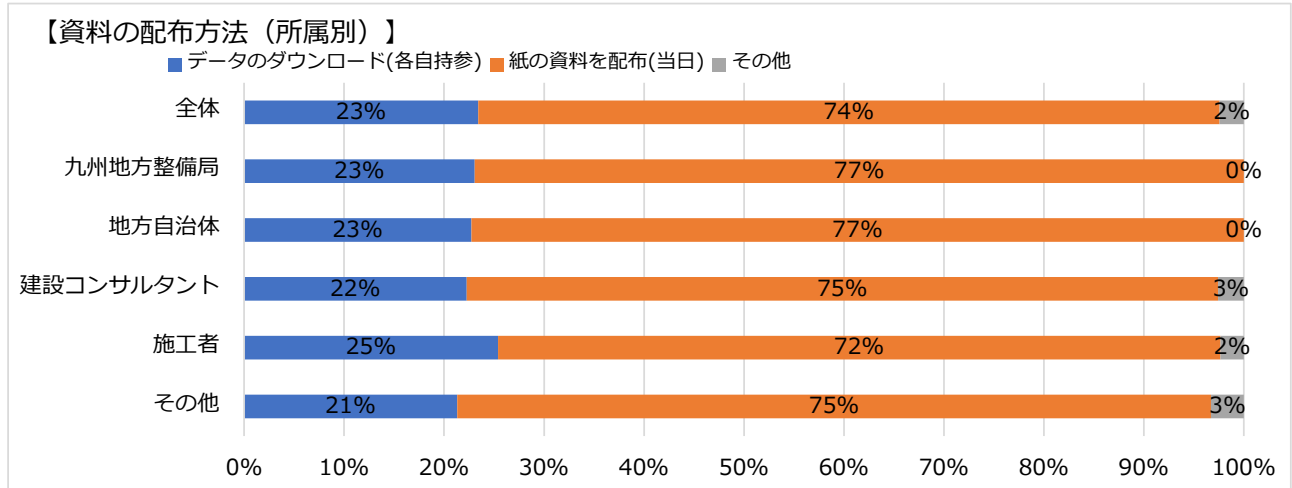
・少数の回答数であるが、今後の参加を見合わせる理由として、24%が「情報収集ができなかった」、20%が「使用したい技術がなかった」、その他が18%であった。



6. 資料の配布方法

【資料の配布方法についてどの方法がよいかお聞かせください。】

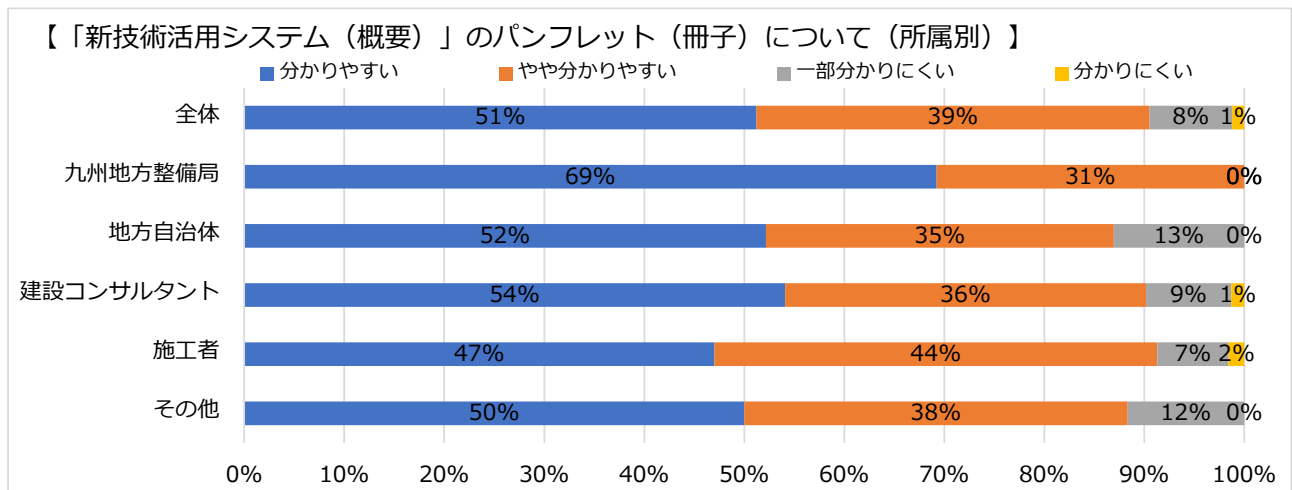
・全体では、「紙の資料（当日配布）」が77%、「データをダウンロード（各自持参）」が23%となっている。



7. 「新技術活用システム（概要）」のパンフレット（冊子）の感想

【「新技術活用システム（概要）」のパンフレット（冊子）について、感想をお聞かせください。】

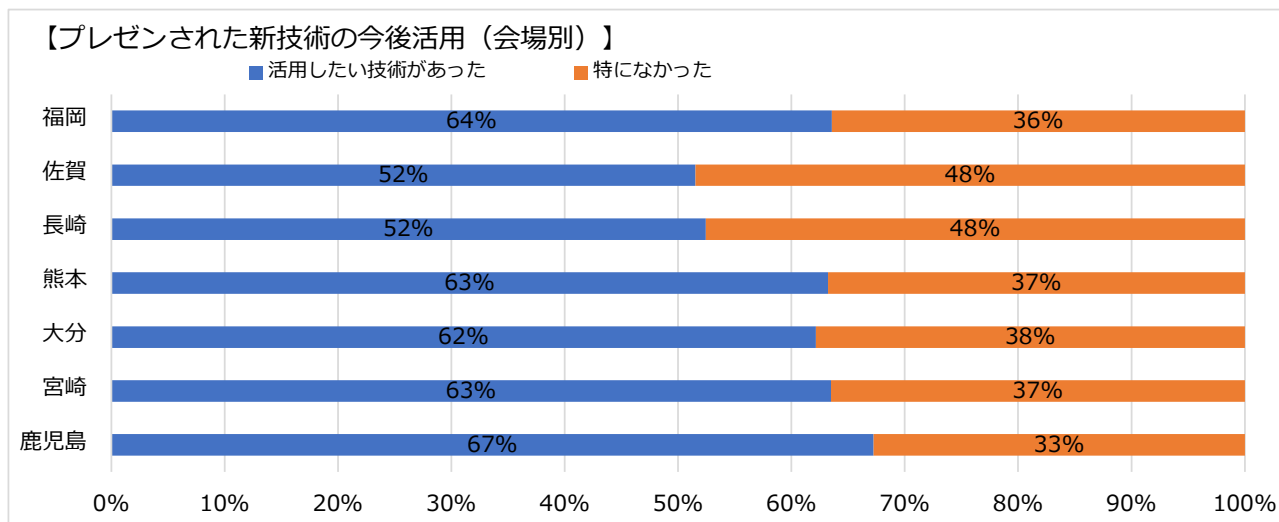
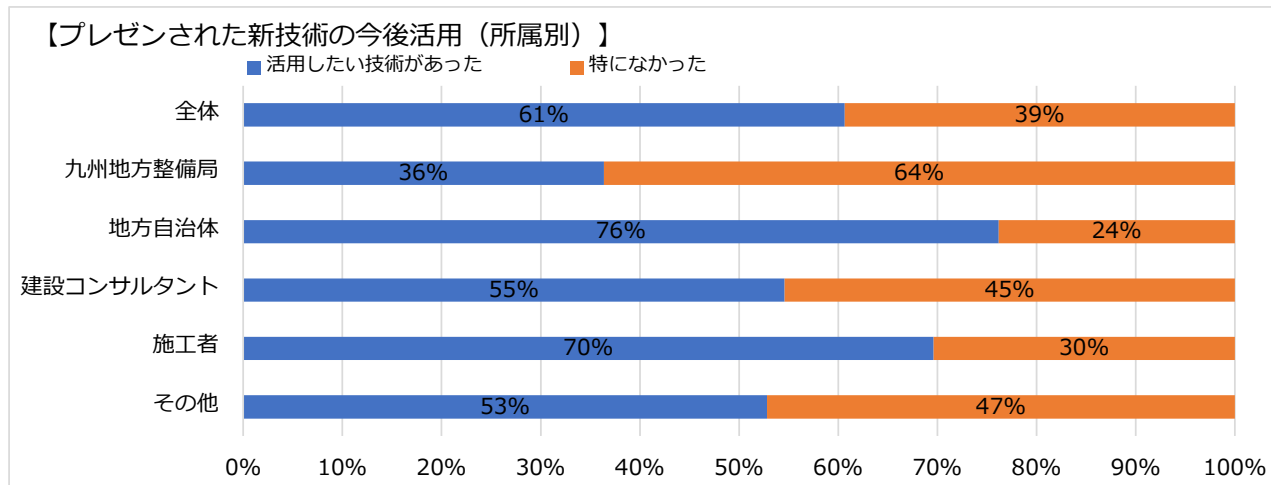
・全体では、「分かりやすい」が51%、「やや分かりやすい」が39%、「一部分かりにくい」が8%、「分かりにくい」が1%となっている。



8. プレゼンされた新技術（NETIS 登録技術）の今後の活用

【本説明会でプレゼンされた新技術（NETIS 登録技術）を、今後活用したいと思われましたか。】

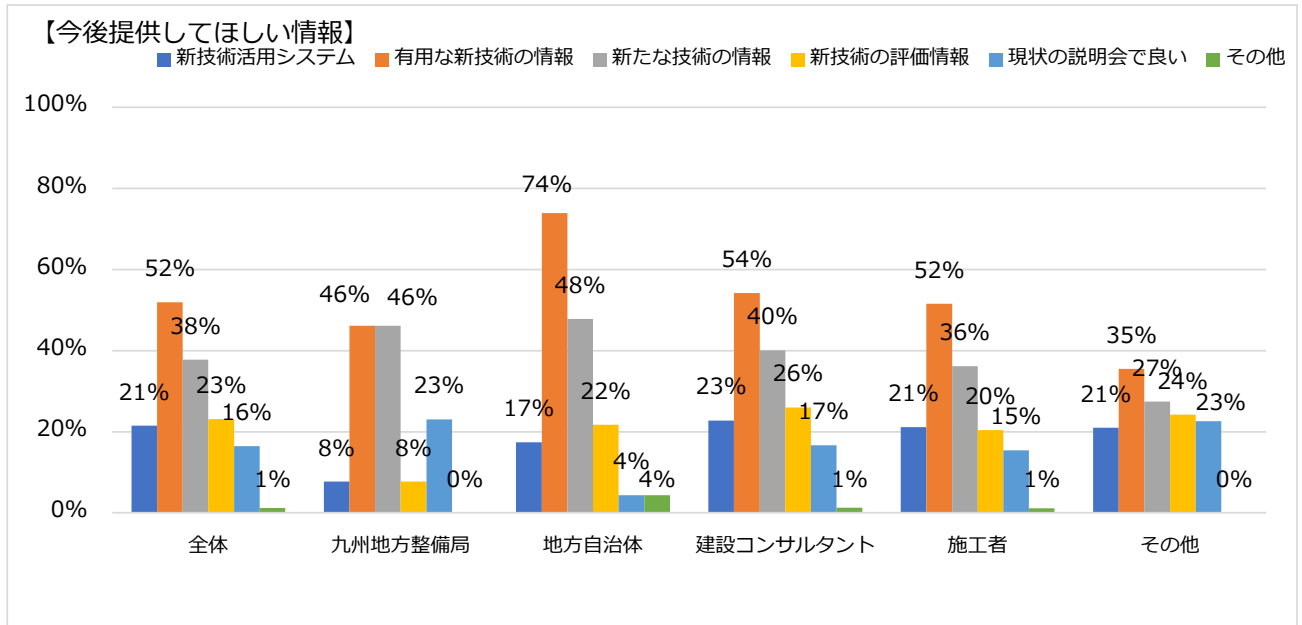
・全体の61%が「活用したい技術があった」と回答している。



9. 新技術・新工法説明会等で、今後提供してほしい情報

【新技術・新工法説明会等で、今後提供してほしい情報は何か。(複数回答)】

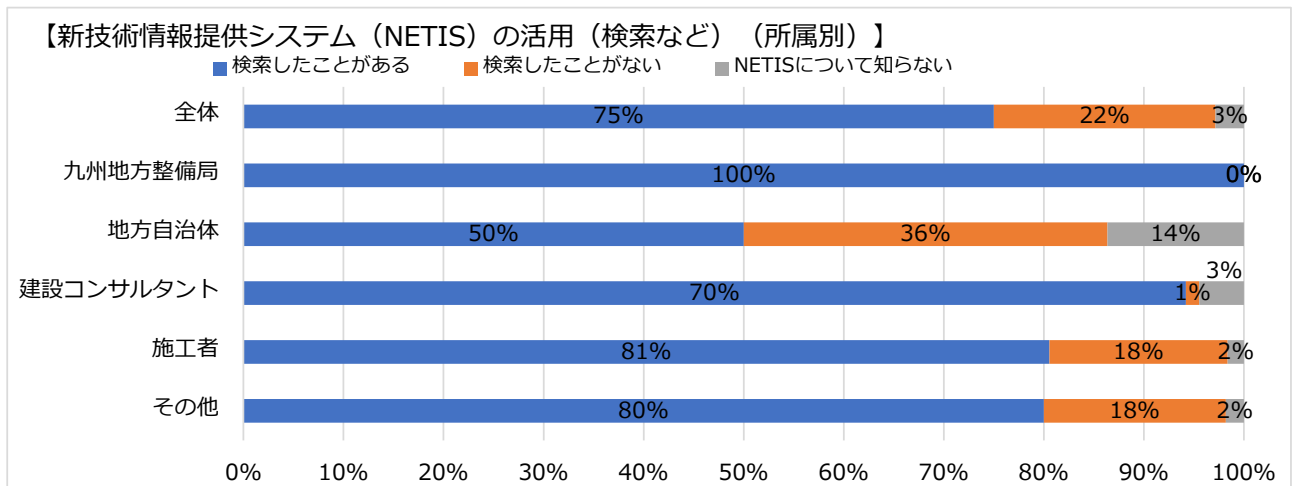
- ・全体の52%が「有用な新技術の情報」と回答している。
- ・次いで「新たな新技術の情報」、「新技術の評価情報」、「新技術活用システム」、「現状の説明会で良い」の順となっている。



10. 新技術情報提供システム（NETIS）の活用（検索など）

【新技術情報提供システム（NETIS）を活用（検索など）したことがありますか。】

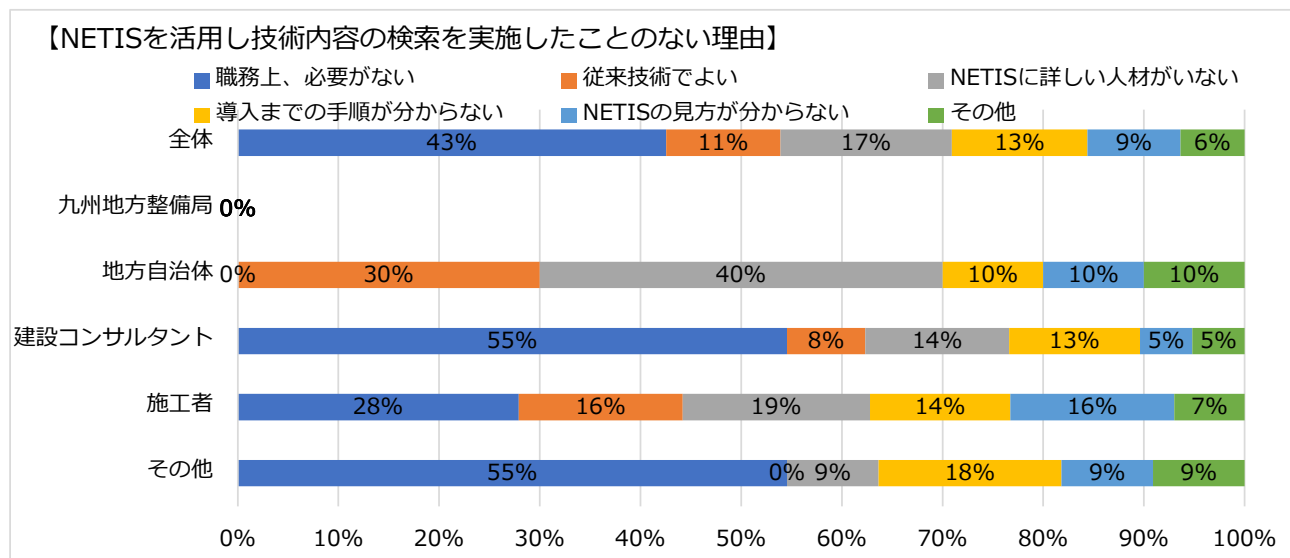
- ・「検索したことがある」が75%、「検索したことがない」が22%、「NETISを知らない」が3%であった。



1 0 - 1 . NETIS を活用し技術内容の検索を実施したことのない理由

【「検索したことがない」と回答された方、その理由をお聞かせください。】

・検索したことがない理由として「職務上必要がなかった」が 43%、「NETIS に詳しい人材がない」が 17%、「導入までの手順が分からない」が 13%、「従来技術でよい」が 11%となっている。



◆その他の回答

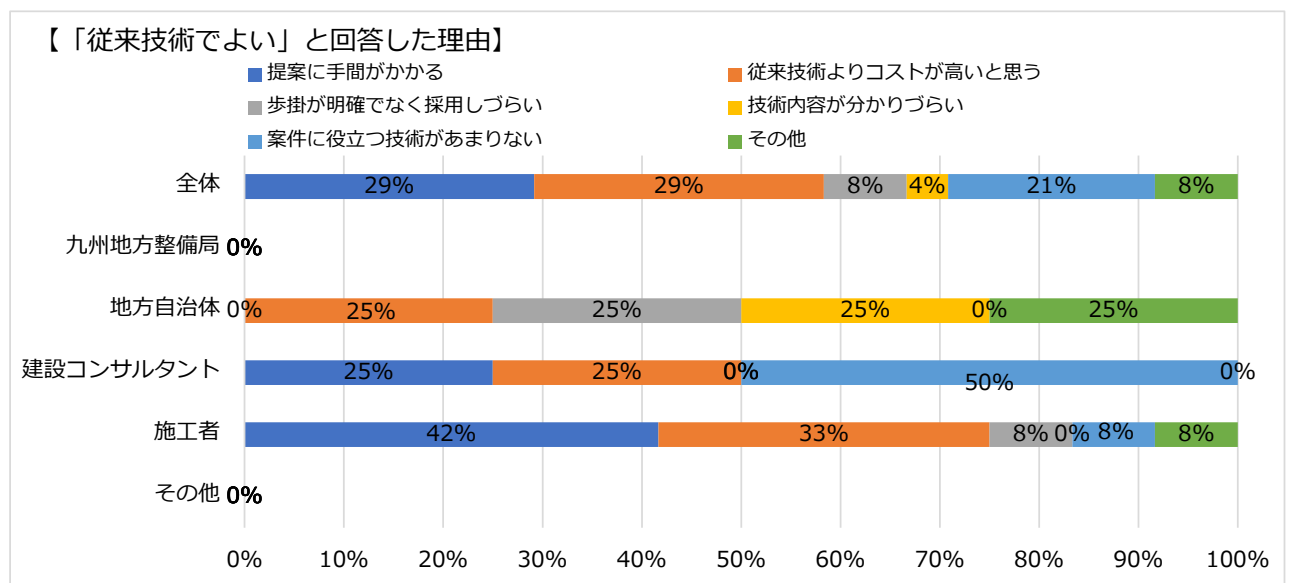
・存在を知らなかった。

1 0 - 2 . 「従来技術でよい」と回答した理由

【1 0 - 1 . で「従来技術でよい」と回答された方、その理由をお聞かせください。】

・全体では、「提案に手間がかかる」が 29%、「従来技術よりコストが高いと思う」が 29%、「案件に役立つ技術があまりない」が 21%となっている。

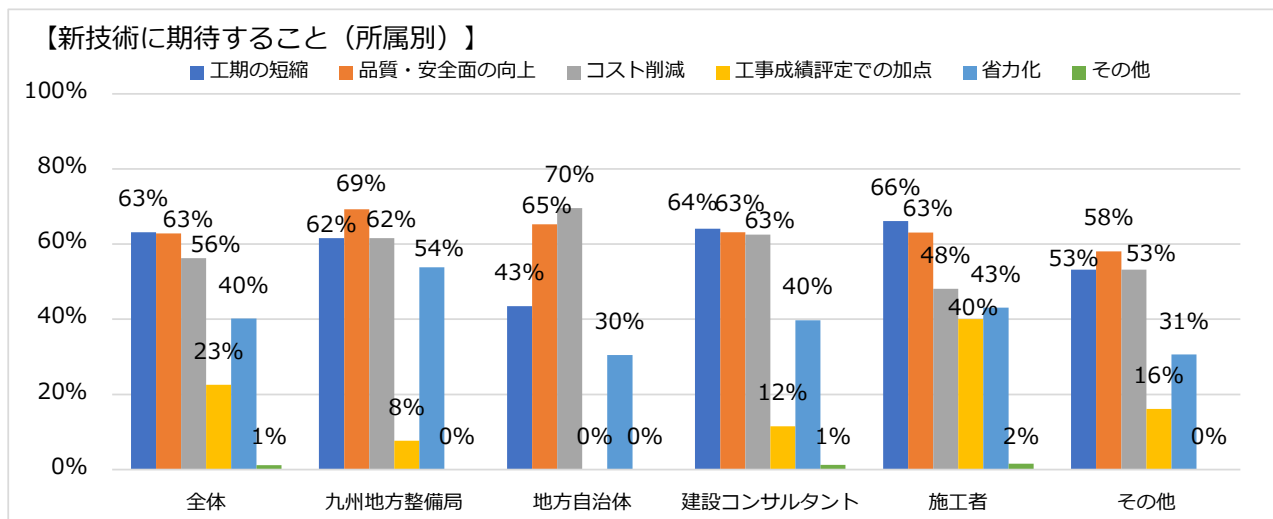
・建設コンサルタントの半数が「案件に役立つ技術があまりない」と回答している。



1.1. 新技術に期待すること

【新技術に期待することについてお聞かせください。(複数回答)】

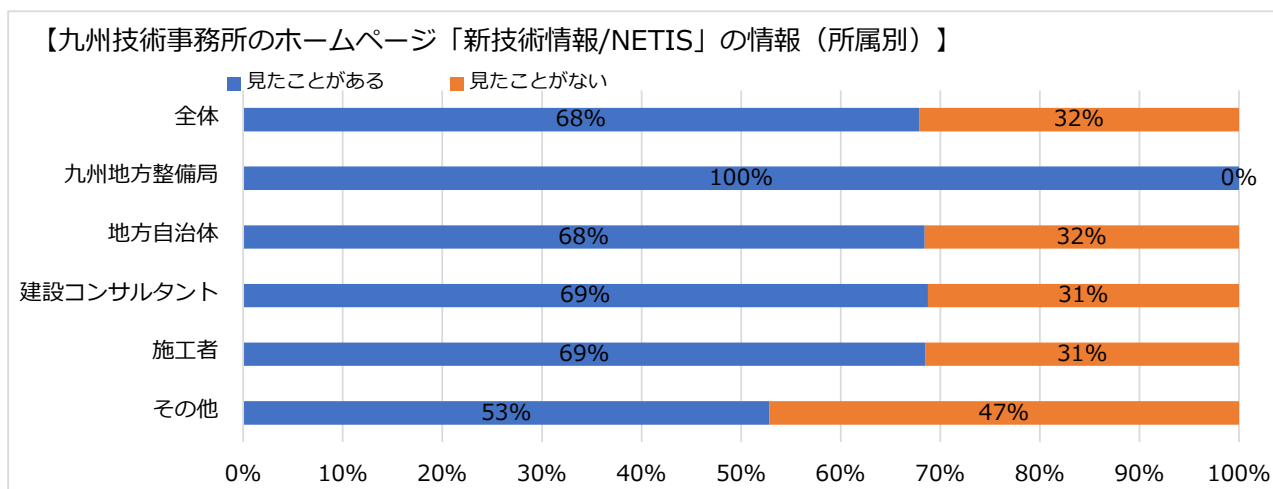
- ・全体の63%が「工期の短縮」、「品質・安全面の向上」と回答している。
- ・次いで「コスト削減」の順となっている。



1.2. 九州技術事務所のホームページに掲載している「新技術情報/NETIS」の情報の閲覧

【九州技術事務所のホームページに掲載している「新技術情報/NETIS」の情報を見たことがありますか。】

- ・「見たことがある」が68%、「見たことがない」が32%となっている。

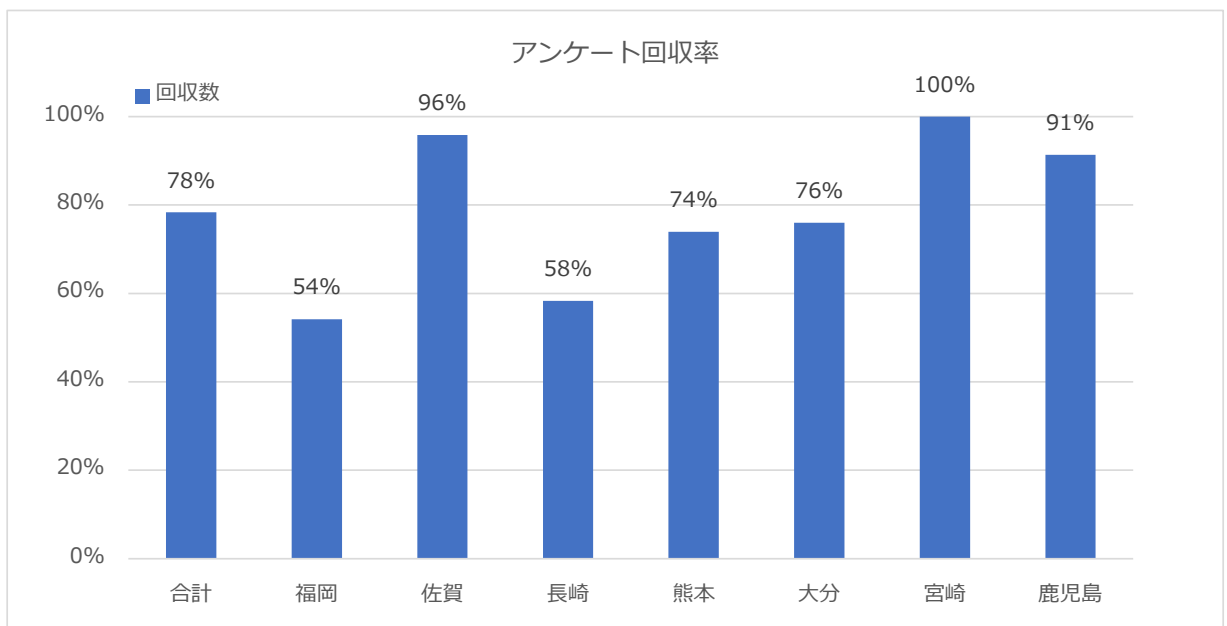


§3. 発表者アンケート調査結果

1. 有効回答数の内訳

実施期間	令和5年10月～12月
調査対象	新技術・新工法説明会のプレゼンテーション企業
調査方法	プレゼン者にアンケート用紙を配布及びオンラインのアンケートフォームにより回収した。
回答数	130件（7会場合計）

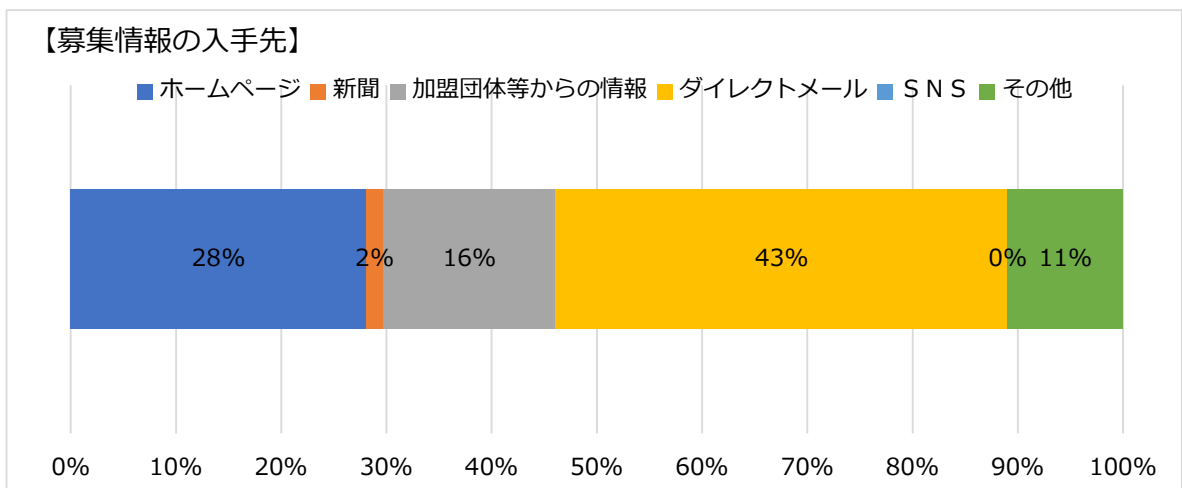
集計数	全体	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島
回収数	130	13	23	14	17	19	23	21
プレゼン数	166	24	24	24	23	25	23	23



2. 募集情報の入手先

【当説明会の募集を何で知りましたか。】

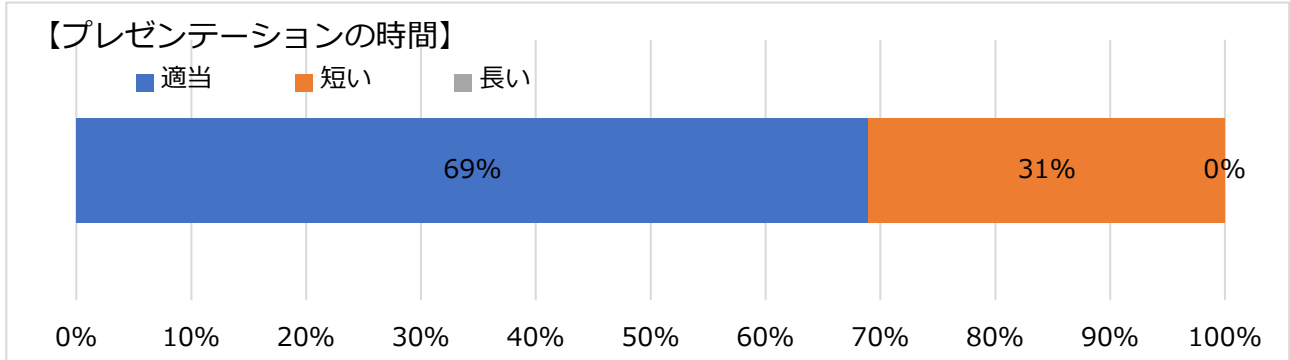
- ・「ダイレクトメール」が43%、「ホームページ」が28%、「加盟団体等からの情報提供」が16%であった。
- ・その他は「紹介」や「社内情報」の回答であった。



3. プレゼンテーションの時間

【プレゼンテーションの時間について、いかがでしたか。】

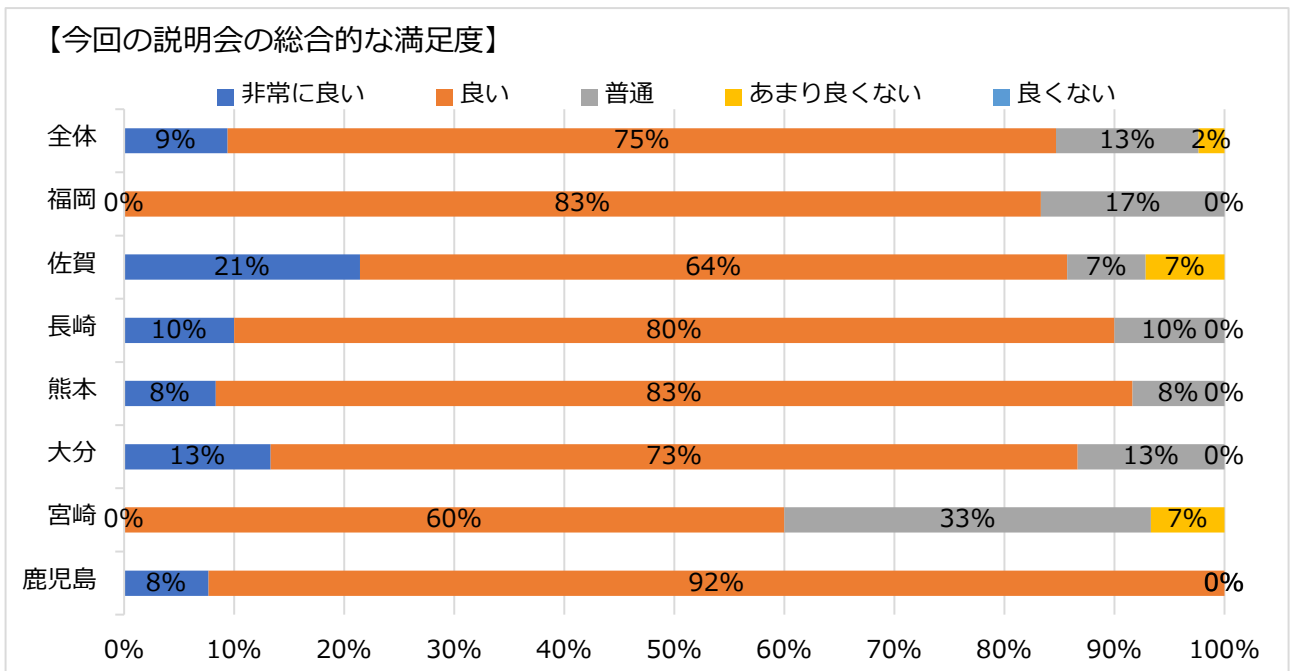
・10分のプレゼンテーション時間は「適当」が69%、「短い」が31%であった。
・「短い」と回答したうち、15分が妥当との回答が多く、20～30分の回答も見られた。



4. 今回の説明会の総合的な満足度

【今回の説明会の総合的な満足度について当てはまるものをお選びください。】

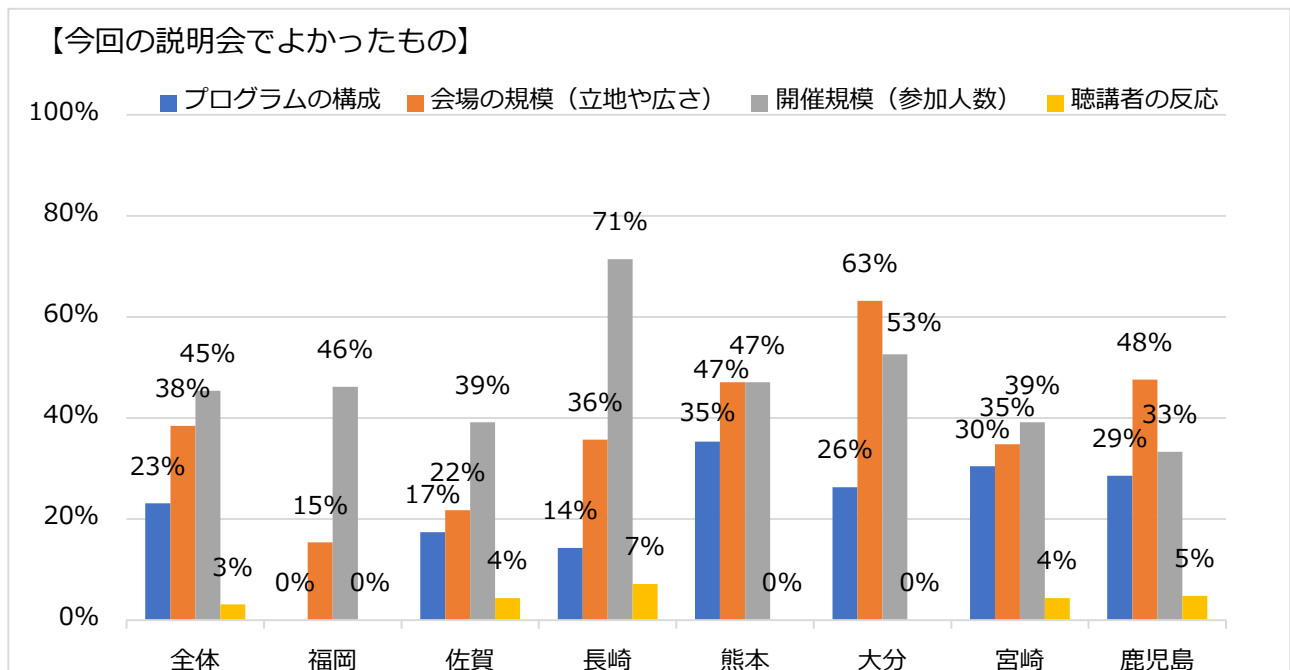
・「非常に良い」が9%、「良い」が75%、「普通」が13%、「あまり良くない」が2%であった。



4-1. 今回の説明会でよかったもの

【今回の説明会でよかったものをお選びください。(複数回答可)】

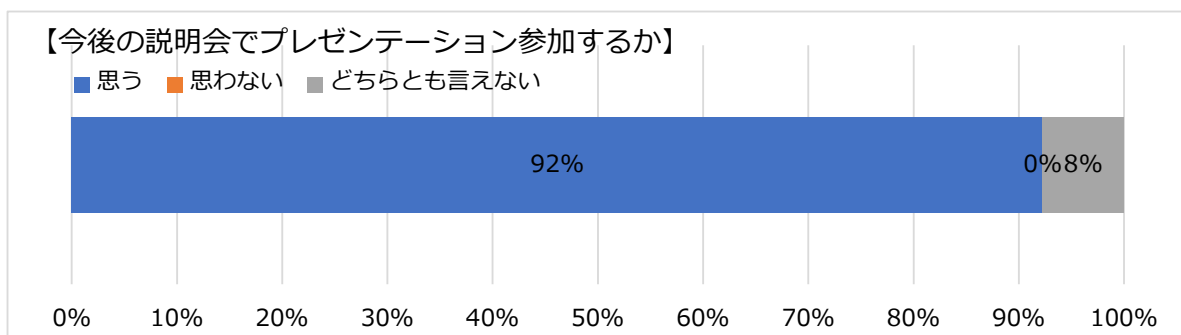
- ・全体の45%が「開催規模（参加人数）」と回答している。
- ・次いで「会場（立地や広さ）」、「プログラムの構成」となっている。



5. 今後の説明会への参加

【今後、同様の説明会を企画した場合、プレゼンテーションをしたいと思われますか。】

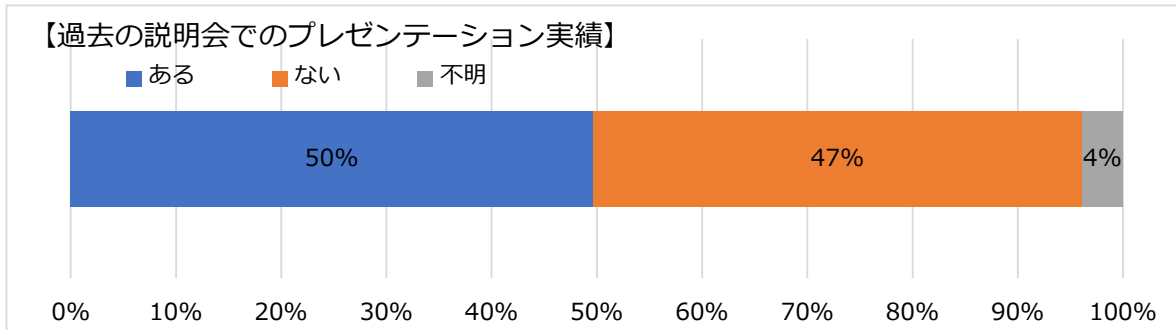
- ・「参加したいと思う」が92%、「どちらとも言えない」が8%となっている。



6. 過去の説明会でのプレゼンテーションの実績

【過去に本説明会でプレゼンテーションをされたことはありますか。】

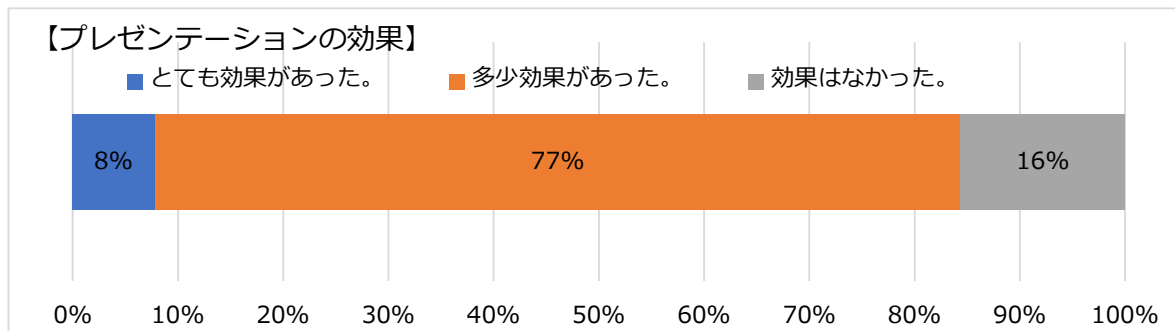
・過去の説明会でのプレゼン実績について、「ある」が50%、「ない」が47%、「不明」が4%であった。



6-1. 過去の説明会でのプレゼンテーション後の効果

【プレゼンテーション実施後の効果（活用数の増加等）について教えてください。】

・「とても効果があった」が8%、「多少効果があった」が77%、「効果はなかった」が16%であった。



7. プレゼンテーションが有料となった場合の参加

【プレゼンテーションの参加費が有料となった場合、参加しますか。】

・「参加する」が23%、「参加しない」が13%、「どちらとも言えない」が63%であった。

